



会津アピオ

会津アピオ組合だより

組合共同事業の強化策についての調査研究

当組合では、昨年に引き続き全国卸商業団地協同組合連合会の「卸商業団地機能向上支援事業」(二ヶ年事業)を活用して、組合員等施設への太陽光発電導入に関する現地調査・研究を行いました。これは、当組合及び組合員企業各社が今後取り組むべき脱炭素化と、エネルギー価格高騰への備えとして、組合共同施設及び団地内組合員施設の屋根等を利用し、太陽光発電を団地組合全体で導入した場合のメリットについて調査研究を行ったものです。

「2023 専門委員会」を立ち上げ

この調査研究は6名の専門委員と5名の組合側委員、外部専門家、オブザーバーを含めた2023 専門委員会にて協議を重ねられ、進められました。専門委員会

- ・梅津國蔵(福島県中小企業団体内 中央会津事務所所長)・柳沼秀夫(会津若松市 環境生活課 課長)・白井隼人(会津若松市 環境生活課 主査)・折笠哲也(会津電力株式会社 常務取締役)・久田雅之(株式会社会津コンピュータサイエンス 研究所代表取締役)・市川敏卓(株式会社東邦銀行会津営業部調査役) 組合側委員
- ・大野勇(当組合企画委員会委員長 天野商事(株)代表取締役)・小野光典(当組合企画委員会副委員長、(株)小野屋漆器店取締役副社長)・高橋正法(当組合企画委員会委員、(株)シ

ンク代表取締役)・廣瀬昇(当組合企画委員会委員、(株)シノン会津支店支店長)・竹島雄太(当組合企画委員会委員、(株)日東事務機代表取締役) 外部専門家

- ・佐藤理夫(国立大学福島大学共生システム理工学類教授)
- オブザーバー
- ・清水政貴(AiENERGY(株)エネルギー事業部営業課課長)

以上 敬称略

会津アピオが脱炭素先行地域の選定エリアに選定

会津若松市が環境省の脱炭素先行地域づくり事業の対象として採択を受け、我々会津アピオエリアは当該事業の選定エリアとなりました。今年度は当組合の脱炭素のブランドデザインについて協議を深め、2025年度の事業に活かしていく予定です。

脱炭素先行地域の先輩、横浜市へ視察

先進地視察

横浜市は日本を代表する再生可能エネルギー活用都市としてのモデルであり、国から「環境未来都市」、「環境モデル都市」、「SDGs 未来都市」等の認定、選定をうけている都市であります。

2023年10月11日(火)に単一区域として日本最大の販売熱量供給床面積を有する「みなとみらい21地区」の視察では、熱供給を行っ

ている「みなとみらい21熱供給株式会社」を訪問、センタープラントの視察と意見交換を実施。続いて、横浜市南吉田中学校を視察。ここでは、横浜市がオンサイトPPA※で屋上に太陽光発電設備と蓄電池を積載。最適運用制御、保守管理を一括して、東京ガスが行っています。1校あたり約2割の後方CO2の削減に繋がっているそうです。

また、停電時には太陽光発電設備と蓄電池を非常用電源として活用、照明やコンセントの電力を供給する仕組みがつけられています。

10月12日(水)には、横浜市との意見交換を実施。脱炭素先行地域としての取組みの現況について説明を受けた後に、ハマウイング(風力発電所)を視察いたしました。

※PPAは発電事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組み。

コロナ禍脱出!

組合会館事業 徐々に回復

私どもの生活・行動に制限を加えてきた新型コロナウイルス。2023年5月8日に感染法上の分類が5類に移行となり、私共の生活も徐々にコロナ禍前に戻って参りました。

当組合の基幹事業でもあります組合会館事業にも、復調の兆しが見え始め、コロナ禍前にリピータだったお客様の利用が戻り、実績として前年比107.6%、コロナ禍前の2019年度比98.4%の四千四百七十三万千円で終えることができました。



働き方改革推進事業への取組み

昨年引き続き厚生労働省助成事業の「働き方改革推進支援助成事業」へ取り組み

組合員企業の人材確保支援
SAPIOBIZPARK
の実現に向けて



当組合がビジョンとして掲げた「APIOBIZPARK」。会津NO1のビジネスタウンを目指すビジョンです。現在のところ組合員企業における課題として挙げられている「人材確保」。その課題解決支援として、組合員企業限定の合同就職説明会を2023年11月23日(金)アピオスペースの展示ホールで開催されました。開催までには、機運醸成として、団地内街路灯へのフラッグを掲げました。また、当日の集客につなげるため、参加企業の求人情報をSNSで事前の発信やポスター掲示、TVCMの放映、新聞折り込みも行いました。当日は組合員企業27社の出展があり、実来場者数は38名と少な

かったものの、面接まで行った方は16名、採用に至った方は3名でございました。

2024年度は合同就職説明会ではなく、違う形で引き続き人材確保支援を行っていく予定です。是非ご利用ください。

アピオのPR

青年部会が中心となり、会津アピオのPR動画を作成いたしました。「APIOBIZPARK」のイメージに合うよう若々しいイメージの動画になるよう、試行錯誤を重ね、作成いたしました。現在、細かい修正を重ねているところでございます。完成の動画に乞うご期待!!! なお、完成しましたら組合員企業の皆様にもデータでお配りいたします。是非、有効にお使いください。

個別巡回指導

本年も、社会保険労務士法人とのタイアップにより、働き方改革推進に関する組合員個別巡回指導を実施いたしました。5事業所が参加し合計10回の巡回指導が実施されました。

実現までのロードマップ

組合ビジョン達成までの道筋決まる

当組合では2022年に創立30周年を迎えました。その際に、創立50周年を迎えるまでの今後20年のビジョンとして「APIOBIZPARK」を掲げたことは、皆様既にご承知の通りと存じます。

2023年度はそのビジョン「APIOBIZPARK」達成のための施策と計画を立てる1年と位置付けており、ビジョン委員会を設置し、協議検討を重ねてまいりました。

ビジョン委員会始動

20年後に当団地を引っ張っていく年代の方にも委員になっていただき、様々な意見が取り交わされました。さらに、よりの確なロードマップ作成のため一般財団法人とうほう地域総合研究所の方にコンサルタントとして入っていただき協議検討がされてまいりました。

委員の方々は以下の通り(敬称略)

委員長
小野健一朗(株)小野屋漆器店)

委員
大田和宗(株)パルネット福島)、五十嵐新治(株)山新商店)、京雄也(株)パティズ)、山田大夢(株)

大和(一)、星晴男(株)ケンオリアドバイザー
梅津國蔵(福島県中央会会津事務所)

挙げられた施策は以下の通り
・収益力向上のため組合会館事業における貸出料金の検討
・人手不足に対応するための就職説明会や組合ホームページの利用DX推進のためのデータベース・グループウェアの構築
・人材育成のための研修制度の充実
・交流人口を増大させるためのイベントの創出

これからやっていくこと!

会津若松市へ要望 アピオの将来のために

会津若松市長へ

会津若松市議会議員へ

2024年3月8日(金)、当組合は会津若松トラックセンター(株)、会津若松市高野地区、会津若松市町北地区、会津若松卸商団地内防犯連絡協議会と連名で要望書を提出してきました。

平成8年からの継続要望

最重要事項としての要望は市道町3-1-38号(物流一号幹線(株)大和一南側20m幹線道



2023年度要望事項として団地内の環境整備に関する事項を要望して参りました。

持続可能な組合とするためのBCP策定・脱炭素対応 等が「APIOBIZPARK」実現のための施策として上げられ、次年度以降の事業計画に反映することとしました。

ご協力をお願いします
ビジョン達成により良い会津アピオとなっていくためには、組合員企業の皆様のご協力が必要不可欠であります。今後ともよろしく願っています。



うまい!!お茶!

今年も開催しました。美味しい煎茶の淹れ方セミナー

2024年3月22日(金)、昨年に引き続き美味しい煎茶の淹れ方&出し方講座が開催されました。講師には煎茶道方円流家元総師範宮崎洋子先生と古川宏子先生をお迎えし、参加者14名で行われました。



宮崎先生の楽しくて、ためになるお話を聞きながら、宮崎先生が選んだ美味しいお茶掛けと共に煎茶の淹れ方を教わった一時間でした。

お茶掛けは桜餅でした。桜の葉の向き! 気にしたことありましたかあ?



ゴルフ愛好会コンペ開催

アピオゴルフ愛好会によるゴルフコンペが初夏と秋の2回行われました。

名門コース ボナリ高原ゴルフクラブ

7月5日(水)の第42回ゴルフコンペはボナリ高原ゴルフクラブで行われ総勢18名の方々にご参加いただきました。晴天のもと行われた今回のコンペでは、天野商事(株)の天野勇様が優勝となりました。

白河高原カントリークラブ

10月26日(木)、第43回当愛好会では初めて白河高原カントリークラブで開催したコンペ。総勢17名の方々にご参加いただきました。前回に引き続き晴天の下行われたコ



ンペでした。優勝は北日本石油(株)の高村宏美様でした。

誰でも・お気軽に!

このゴルフ愛好会のゴルフコンペは、どなたでもご参加いただけるコンペです。奮ってのご参加お待ちしております。

青年部会 視察研修

多種多様な働き方に対応

青年部会では、2024年2月16日(金)・17日(土)、昨年に引き続き視察研修を開催。協同組合熊谷流通センター(埼玉県熊谷市)、サイボウズ(株)(東京都日本橋)を訪問しました。

BCPで団地の価値アップ

熊谷流通センター

協同組合熊谷流通センターは2025年に創立50周年を迎える、我々の先輩団地にあたります。熊谷流通センターでは団地内を組合員にとって有益は価値あるエリアにするためBCPに着目。地元自治体と連携した地域防災の核となること目指している。同団地で行われている「問屋祭り」でも来場者へAEDに講習会を行うなど、安全安心な街をしてPRしてみたい。他に、50周年の節目に向けて組合会館の建て替えを計画していました。



場所を東京日本橋に移動しサイボウズ(株)を訪問、かつて離職率28%であった同社は「社員は多様」として働き方を押し付けない働き方を尊重するなどの取組を行い、現在の離職率は2%ということでした。

他に、書き込みアプリを活用し、従業員同士が「ぶやき」を発信することで情報の共有をはかり、業務のスピード化を図っているとのことでした。

4年ぶりの開催!

会津アピオクリスマスパーティー

コロナ禍の4年間、お休みしておりましたクリスマスパーティー。新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類になったことにより、2023年12月7日(木)開催することができました。

開催は、以前から好評の「会津写遊庭」さん。来賓の方を含め大人53名、子供27名合計80名の方にご参加いただきました。美味しいお料理とデザート・飲み物を楽しみました。

アトラクションはくじ引き大会を開催。会場内は大いに盛り上がりました。



ボウリング大会開催



2024年3月8日(金)アピオボウリング大会が開催されました。当組合からは47名、トラックスエンタープライズからは13名、合計60名での熱戦となりました。

和やかに表彰式懇親会

ボウリングの終了後はルネッサンス中の島さんと表彰式懇親会を開催。団体戦での優勝チームと個人賞の表彰。栄えある優勝は、団体 11番レーン 猪俣健太様(株)二丸屋山口商店・鈴木礼子様(リオンホール会津アピオ店・斎藤正弘様(会津若松トラックスエンタープライズ)個人 佐藤亜斗武様(株)シンク)

今までは「違う」フェスに

コロナ禍や働き方改革の影響もあり、長らく中止しておりました当組合のイベントですが、2024年度は名前を変えて開催予定です。運営スタッフの負担等も考慮して、いままでとは「ちょっと違った」イベントをしていく方向であります。どんな名前でも、どんなことをやっていくかは、これから実行委員会決定していきます。乞うご期待。

帰ってくるぞ！フェス

ご協力をおねがいします

組合のイベントの開催にあたりましては、組合員企業の皆様のご協力が必要不可欠です。会津アピオフェスティバル同様よろしくお願いたします。



の皆様でございました。おめでとうございます。たくさんのご協賛、ありがとうございました。表彰式では、参加者全員に賞品がいきわたりました。これも、賞品の協賛にご協力をいただきました皆様ののおかげでございます。22の企業・団体の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。



学校法人堀内学園 リトルスターこども園 開園

令和6年4月1日 開園！！

学校法人 堀内学園
幼保連携型認定こども園

リトルスターこども園

ココミネ式導入園

- 考える力を身につける
- 感性を育てる
- 体力をつくる

富岡幼稚園 TEL.0242-85-8423

丸大堀内株式会社 会津営業所移転

当社は昨年12月に福島県南酒販会津支店様2階に拠点を喜多方市より移転しました。



総合食品酒類卸売業として、ナショナルブランドの商品はもちろんのこと、東北に根ざした地元食品メーカー様との長年にわたる取り組みを通じて、豊かな地域食文

化への貢献を目指します。

また卸売業のロジスティクス機能を最適化し、安心・安全・高品質なサービスを提供をすべく、物流・情報の連携を取り、日々向上を目的として全社一体となり取り組んでおります。



組合代表者変更

(敬称略)

四月
東京電力ホールディングス(株)
(会津若松補償相談センター)
井上 裕一 ⇨ 柴田 知明
六月
サントリービレッジソリューション(株)
川村 直樹 ⇨ 及川 剛
(株)デンコードー
遠藤 義行 ⇨ 高橋 淳

編集後記

お陰様で第12号を迎えることができました。一重に皆様のご協力があったからこそ賜物でございます。ありがとうございます。

2023年度は5月8日に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げられたことにより、私たちの生活もようやくコロナ禍から解放された1年となりました。徐々にコロナ禍前の生活に戻りつつあるものの、円安や物価高の影響もあり、厳しい状況が続いております。

1月1日には能登半島地震が発生。日本をまたしても巨大地震が襲い、今なお復旧作業が続いております。「自然の前では人間がいかに無力か」を改めて思い知らされました。「災害が発生した時に、「どう命を守るか」「家族を守るか」「周囲との連携をどうするか」「どう地域を再生させていくか」を平時から考えておくことしかありません。私たち人間は自然の前では無力ですが、自然からたくさんの恩恵を受けています。人間の知恵を集めて、自然との共存を模索し続けていかなければなりません。

当組合も設立から32年が経過しました。組合員企業の皆様からの知恵と力をあわせながらAPIO BIZ P A R Kを創り上げていきたいと思います。